

中綴じの場合も無線綴じと同様に
ページ順の配置でご入稿下さい

マイボーム腺機能不全とは？くわしく解説！



マイボーム腺関連疾患の特長と かかりやすい危険因子

- マイボーム腺関連疾患になりやすい方
- ☐ 高齢（60歳以上）
 - ☐ 男性
 - ☐ 脂性肌（おでこがてかてかしやすい）
 - ☐ 揚げ物、油ものが好き
 - ☐ 魚より肉が好き
 - ☐ 喫煙の習慣がある
 - ☐ 冷え性
 - ☐ 脂質異常症、もしくはその疑いがある
 - ☐ メタボリックシンドローム、もしくはその疑いがある



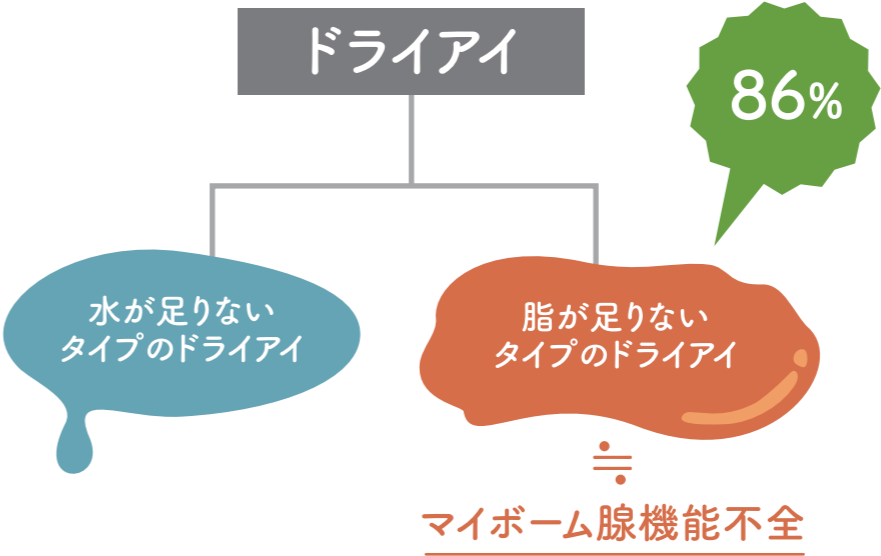
まぶた、まつ毛、マイボーム腺の出口は常に外界にさらされており、目の器官のなかで最も細菌感染や炎症をおこしやすい場所です。
マイボーム腺関連疾患は、食習慣、生活習慣とも関わりがあり、全身疾患（メタボリックシンドローム）と関連があることがわかっています。

以上のことから、生活習慣や生活環境が変わらなければ、マイボーム腺関連疾患は慢性化しやすく、改善と悪化を繰り返すことが多いといわれています。

毎日のホームケアを根気よく続けていただくことで、
症状の改善、再発の予防に役立つと期待されます。



あなたは脂が足りないタイプの ドライアイかも？



涙は99%の水（液層）と1%の脂からなっています。
最近の研究で、「脂が足りないタイプのドライアイ」がドライアイ全体の86%以上であるということがわかりました。
マイボーム機能不全は、「脂が足りないタイプのドライアイ」を引き起こします。「脂が足りないタイプのドライアイ」は、点眼治療では改善しない場合が多いのです。

DEWS II report, Ocular Surface, 2017
Lemp, et al. Cornea. 2012 May;31(5):472-8.